



学校だより

笑顔あふれる学校を目指して

ホームページ <http://www.koganei.ed.jp/~koganijs/>

第10号 令和5年2月28日
小金井市立小金井第一中学校
小金井市桜町2-3-15
TEL 042-383-1161
FAX 042-382-0401

災害から考える

校長 山中 栄治



春の嵐が吹き、三寒四温を実感すると、本格的な春の訪れを感じます。生徒たちも気候の変化とともに、卒業シーズンの到来を感じ始めていることと思います。

76回目の卒業生となる3年生は、私立高と都立高の推薦、私立高と都立高の一般入試が終わり、3月1日は、都立高の一次・分割前期の合格発表日になります。6日からは、卒業式に向けた学年対応の臨時時間割が始まります。3年間の様々な学びを振り返るとともに、卒業後の心構えを確認します。また、学年行事を通して、改めて仲間との絆の深さを感じるのだと思います。17日の卒業式では多くの人に感謝しつつ強い決意を胸に巣立って行ってくれることと思います。

G組は、2月17日(金)に清瀬けやきホールで3年振りに開催された「劇と音楽の会」に参加しました。当日の演目は、劇「どんな色が好き？」でした。発表の日まで練習を重ねた成果を見せてくれました。発表後は、緊張から解放され、たくさんの笑顔が見られました。G組の生徒は、行事や多くの体験を通して、心も身体も大きく成長しました。当日は、感染防止対策もあり保護者の参観はできませんでしたが、G組学級通信で動画の配信についてお知らせします。

さて、東日本大震災から今年で12年、阪神・淡路大震災から28年、関東大震災(1923)から100年となりました。今月6日、トルコ南部のシリア国境近くで発生した大地震では、これまでに5万人以上の死亡が確認されるなど、東日本大震災の発生以降、世界でも最悪の地震災害となりました。日本政府は、国際緊急援助隊等を現3地に派遣し、地震による被災者に対する支援活動を行い国内では、団体や企業による募金活動なども行われました。トルコは地震国であるという点で日本と共通しています。また、トルコと日本は歴史的なつながりがあります。1890年、オスマン帝国(トルコ)軍艦・エルトゥールル号が和歌山県沖で台風による遭難事故に遭い587名の乗組員らが犠牲となりました。和歌山・串本の紀伊大島の住民らの献身的な救助で、69名が一命を取り留め生きて故郷に戻ることができ、後に日本とトルコの友情の起点と認識されるようになりました。このことをトルコの人々は忘れることなく、地震等の困ったときの相互支援によって、互いの絆を深めています。この出来事は、出版会社にもよりますが、道徳や社会科の歴史資料として記載されています。

地震などの自然災害はいつどこで発生するか予想ができません。地震(災害)が起きたらどう行動するか、常に頭の隅に置いて、生活することが大切になります。学校や家庭、外出先など様々な場所で身の守り方や避難の方法を考えておくだけで生存率が上がります。学校では「備え」とともに「構え」を養うために、避難訓練(地震・火災・不審者)や安全指導(生活・交通・災害)を毎月行い、次年度に向けて避難経路の見直しを進めています。小金井消防署員の指導の下で、3年生は、3月13日(月)に普通救命講習を行い、AEDの使い方や人工呼吸等について学び予定です。1年生・2年生は、20日(月)に自助・共助のスキル習得に向けて防災訓練を予定しています。災害では、自分の命を守ることが最優先です。自分の命を守れてこそ、人の役に立つことができます。地域に貢献できる人材を育てることも学校の役割だと考えています。

東京都からは各家庭に首都直下地震等の様々な災害に対する備えが万全となるように、日常的に活用できる防災ブック「東京防災」が作成され全家庭に配布されています。電子書籍版もありますので、是非活用してください。



令和4年度学校アンケート集計結果（2月実施）

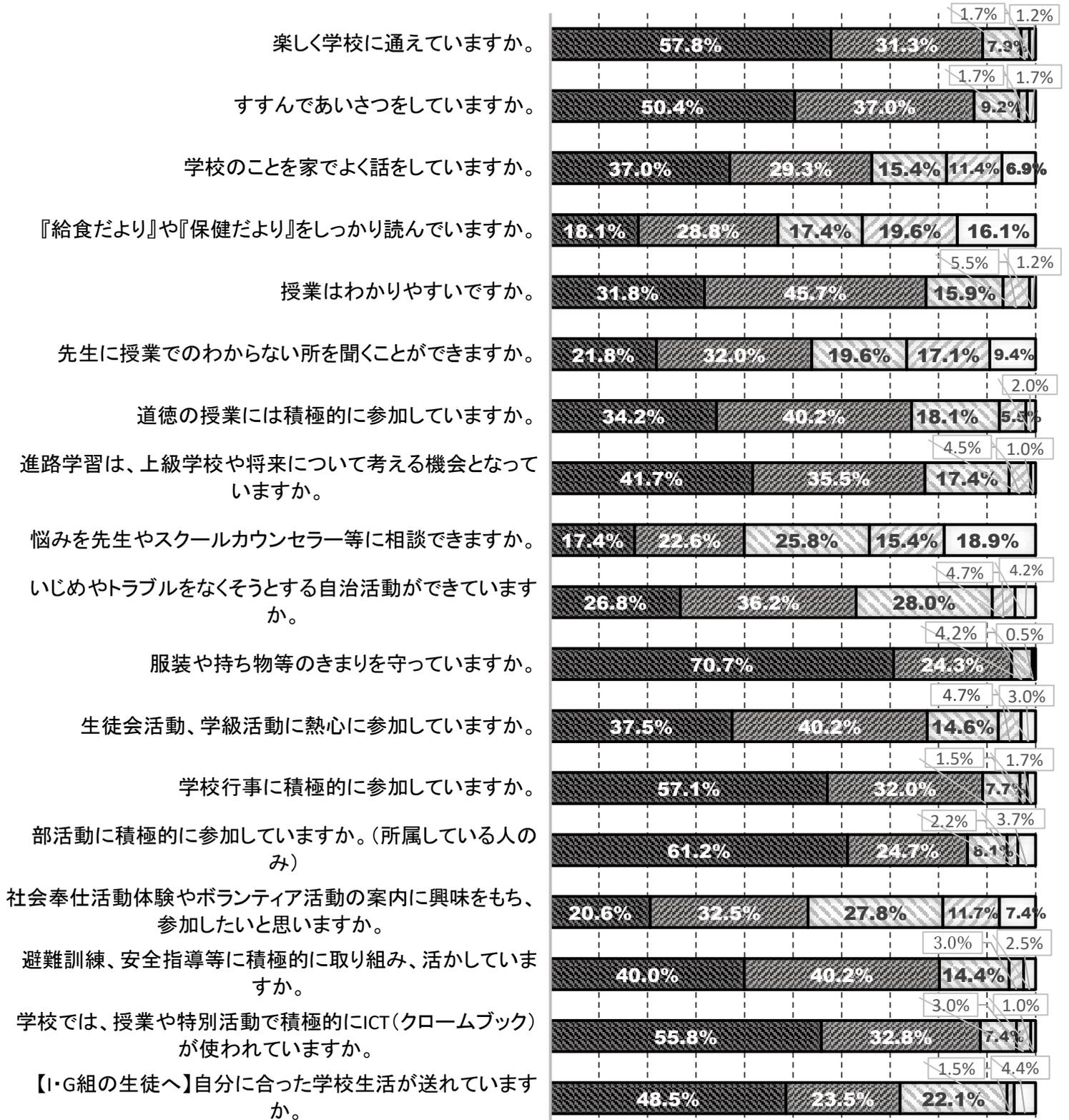


生徒、保護者対象の「令和4年度学校アンケート」結果がまとまりましたので、御報告いたします。御協力ありがとうございました。

令和4年度 生徒アンケート【全学年】

■ そう思う ■ だいたいそう思う □ どちらでもない □ あまりそう思わない □ そう思わない

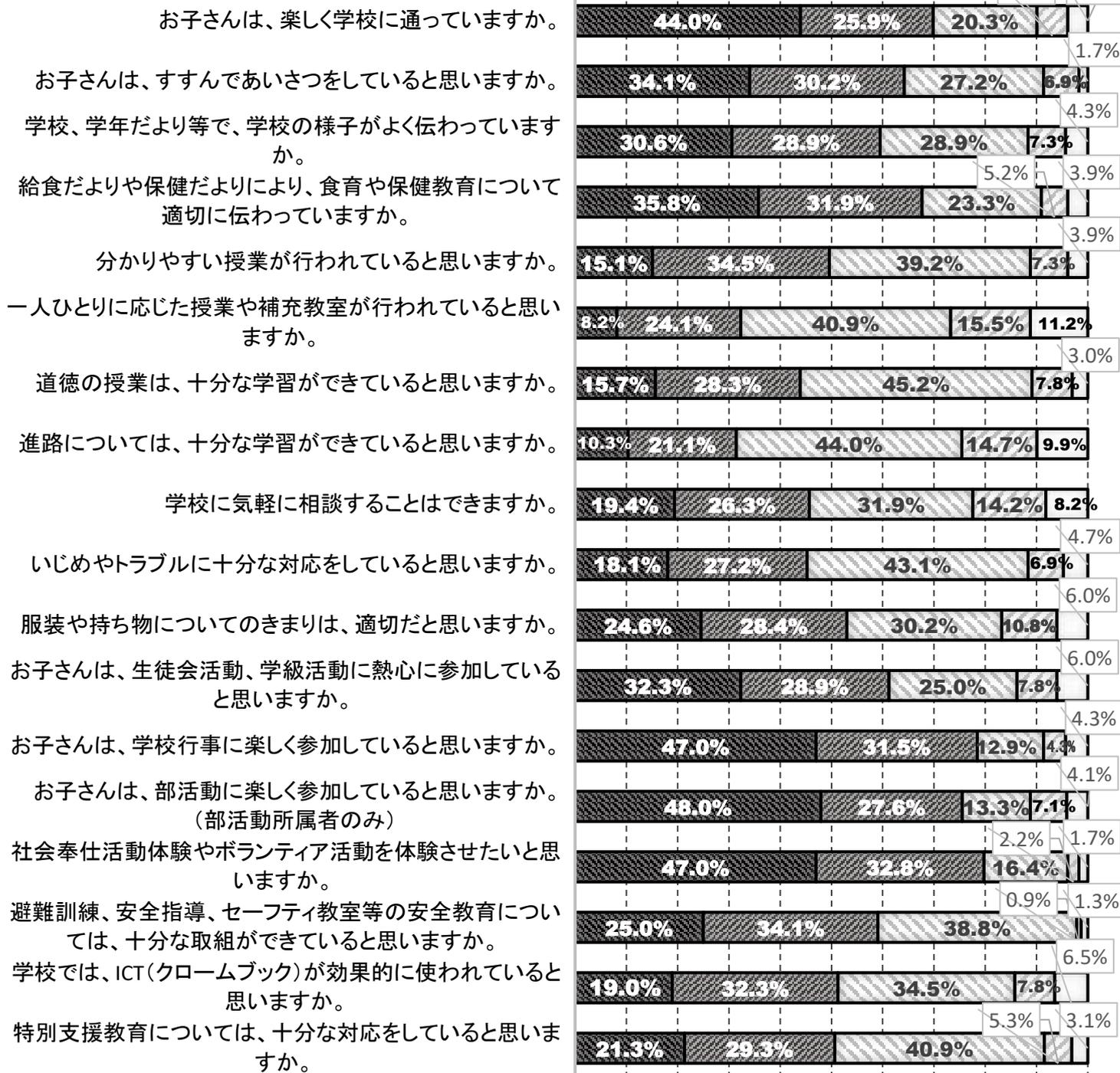
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



令和4年度 保護者アンケート【全学年】

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ どちらでもない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



生徒アンケートでは「楽しく学校に通っていますか。」という質問に対して、多くの生徒が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えています。一方で『給食だより』や『保健だより』をしっかりと読んでいますか。という質問には回答にばらつきがあり、健康、食育の観点から課題と言えます。

また、「先生に授業でわからない所を聞くことができますか。」「悩みを先生やスクールカウンセラーに」においても回答にばらつきがあり、生徒に寄り添った教育の実践にむけて課題としていきたいと思えます。

保護者のアンケートでは、「一人ひとりに応じた授業や補充教室が行われていると思えますか」について「そう思う」「だいたいそう思う」の割合が低く、個別最適化の学びの実現を望む声の大きいことがわかります。

今回のアンケートを踏まえ、来年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。御協力をいただきありがとうございました。

1年生 小金井特別支援学校との交流会 2月9日(木)

先日、小金井特別支援学校との交流会を行いました。実際に対面できる20分という時間を大切にするために、事前学習を重ねてきました。

実際に障がいをもつ方の講話や車いす体験などからは、どんな場面が困難か、どんな助けが必要かを学びました。また、交流会に向けて、自分たちの学校生活を紹介する動画をつくり、お互いの学校の様子を共有しました。

障がいの有無によって分け隔てのない社会に向けて、これからも理解を深めていく必要があります。交流会を通して自分たちは何ができるのかを考えるきっかけとなりました。



G組 劇と音楽の会 清瀬けやきホール 2月17日(金)

3年ぶりの開催となる多摩特研の『劇と音楽の会』。G組は「どんな色がすき？」という劇で参加してきました。今回の劇は一人ひとりが自分の色を大切にしよう、自分らしくやっつけていこうというメッセージが込められています。「緊張する～」と言っていた生徒たちですが、今までの練習の成果をしっかりと発揮し、堂々と演技をして観客を魅了しました！



他の学校も合唱、合奏、群読、太鼓、ダンス、劇など、笑いあり涙ありの様々な発表があり、楽しい会となりました。



活躍する一中生！



**令和4年度
東京都教育委員会児童・生徒等表彰**
テニス部女子
**2022年度
小金井市体育協会 特別奨励賞**
テニス部男子

第72回東京都公立学校美術展覧会
一中出品者
3年 芸術家レポート
3年 芸術家レポート
1年 缶の静物画

美術部
運動会の時に制作したスローガンを体育館に掲示しました。ぜひ見てください！

令和4年度小金井市教育委員会児童生徒表彰

3年 第32回日本クラシック音楽コンクール 中学生ヴァイオリン部門 第5位
1年 全日本ジュニアテニス選手権2022 男子シングルス 準優勝
テニス部女子 令和4年度関東中学生テニス選手権大会兼関東中学校体育大会 女子団体 第8位

卓球部
東京都新人卓球大会
男子団体戦の部
準優勝

→関東選抜大会へ出場します。
中体連第10ブロック1年生大会
男子シングルス
優勝
準優勝
第3位(ベスト4)
第5位(ベスト8)
女子シングルス
優勝
準優勝

吹奏楽部

3月19日(日)に体育館にて定期演奏会を行います。また3月25日(土)は貫井北町センター祭りで演奏します。素敵な演奏ができるよう、日々の練習を頑張ります♪

工作部・手芸部

2月11日(土)・12日(日)に一中でとれた夏みかん(G組がとってくれました!)を使ってジャム作りを行いました。



ハンドクラフトエキシビション(作品展)

3月1日(水)保護者会後~30分間(保護者向け展示)
3月2日(木)・3日(金) (生徒向け展示)
ぜひ、お越しください！